



## 入間基地で入隊予定者に体験搭乗を案内

埼玉地方協力本部（本部長 山下一空佐）は令和2年12月20日（日）入間基地において実施された体験搭乗に入隊予定者を案内した。

本体験搭乗は東部方面総監部募集課が航空総隊の支援を得て、定期的に企画し各地本から参加者を募っているもので、埼玉地本としては今年8月30日の実施に引き続き今年度2回目。これに同地本から採用試験に合格した入隊予定者及びその家族など計17名が参加した。

前回と同様、搭乗者を半減しフライトごとに機内の消毒を行うなど、感染症対策を徹底、「ウィズコロナ」における体験搭乗の在り方が完全に定着した。凍て晴れの空の下、入間ヘリコプター空輸隊のCH-47Jに搭乗した入隊予定者からは、「紅葉が空から楽しめた」「小さく見えたスカイツリーに感動した」との感想が聞かれた。

また、この体験搭乗には入間基地広報も協力し、各地本からの参加者全員に「航空救難団クリアファイル」をプレゼント。更には基地売店と調整し、自衛隊グッズ販売ブースを出店させ、参加者の自衛隊に対する関心を盛り上げた。

入隊予定者を引率した入間地域事務所の広報官は、航空自衛隊の勤務の実態について参加者に説明できたと語っており、埼玉地本は今後もこのような取り組みで入隊予定者の不安を払拭し、入隊をサポートしていきたいとしている。

